



あれ?!

前は大きな手ぶくろ（鍋つかみ）をしていたのに、今日はつけていない…。
ママが持っているフライパン、熱くないのかなあ。



このフライパンにはなにか秘密があるの？



なぜ？なに？
どうして？
誰か教えて！

スウェディちゃんは、スウェーデンハウスに暮らす女の子。
好奇心旺盛なスウェディちゃんの周りにはなぜ？なに？どうして？が、たくさん。
大好きなぬいぐるみのムース君と、今日も不思議を見つけたようです。



スウェディちゃんのなぜ？なに？どうして？
教えてムース先生！

Vol.1
木の性能編



ママはとってもお料理が上手！
今日のごはんは、なんだろう。
さあ、ムース君も一緒に、お料理を見てみよう。

わっ!!



木が熱を伝えにくい理由

木の中には、たくさんの空気があるから熱を伝えにくいんだよ。空気は身近なものの中で、一番、熱を伝えにくいんだ。ダウンジャケットやお布団が、暖かいのも、中の空気が熱を逃がさないからなんだ。

顕微鏡を使って見てみよう。ほら、木の中には数えきれないくらい、たくさんの小さな小さな部屋があって、そこには空気が入っているんだ。

熱を伝えにくい木の特徴を利用した窓

スウェディちゃんの家には、たくさんの木が使われているよね。家族みんなが、いつも気持ち良く暮らすことができるのは、熱を伝えにくい木を上手に使っているからなんだよ。その一つが窓枠。

木の窓枠は、冬の外の寒さが窓枠に伝わって家に入り込むのも、夏の外の暑さが窓枠を伝わって家に入り込むのも防ぐんだ。

だからお部屋をずーっと快適にしてくれるんだよ。



窓枠には、プラスチックの仲間(樹脂)で作ったものもある。樹脂も熱を伝えにくいけれど、太陽の日射しを長い年数、浴び続けると、硬くなったり、割れたり、変形しやすくなってしまふんだ。

木の窓枠は冷たくないね。でも、学校の窓枠はアルミなんだって…とってもヒヤッとした。



大好きなぬいぐるみの、ムース君が!!
しゃ、しゃべってる!!

ふむふむ

なにかお困りかな?



私の名前は「ムース先生」!

ただの、ぬいぐるみだとおもっていたなら、大間違い。僕はとっても物知りなんだ。フライパンを持っても熱くないのは、どうしてか?それはね、「木」に秘密があるんだよ!

熱の伝わりやすさ



木は熱を伝えにくい

木には、熱くなったり冷たくなったりしにくい才能があるんだ。木は熱を伝えにくい。だから、鉄のフライパンが目玉焼きを焼けるくらい熱くなくても、取っ手が木なら、鍋つかみなしでも熱くないんだ。



ムース先生のおはなし

木は、自然が私たちにもたらしてくれた最高の贈り物です。木は時間の経過とともに表情を変え、味わいを増していく特徴があります。スウェーデンハウスは、木の魅力を楽しむことができるのも醍醐味。長く暮らすことに相応しい家です。

おとうさん、おかあさんへ

「木の才能」の詳しい情報は…情報紙165号バックナンバーでご紹介しています。またスウェーデンハウスのテクノロジーカタログもご用意しています。



とっても強い北欧の木

ところで、スウェディちゃんの家は、スウェーデンで育った樹齢80年くらいの木を使っているんだよ。寒さの厳しいところで育つ木は、ゆっくりと成長するから年輪の幅が狭くて、堅さと粘り強さがある。おまけに樹齢80年くらいになった木はすごく強くなっているから、長く住むことができる丈夫な家をつくるのに最も適しているんだ。

80年たった立派な木を切ってしまうのは、もったいないと思うかもしれないけど、スウェーデンでは、100年以上前から切る量より多くの苗木を植えながら、森を守っているんだ。木を切ることや使うことが、森を育てることにつながっているんだよ。

わたしのお家が強い木に守られているなんて、なんだかとっても安心。



ふ〜ん そうなんだ

それと、料理をすると湯気がいっぱい出るよね。木はお部屋の湿気を吸ったり、吐いたりして調整する力もあるんだよ。